

千秋町連区地域づくり協議会

千秋だより 第117号

発行日 令和4年2月1日

発行者 千秋町連区地域づくり協議会 千秋町佐野字郷西48番地（一宮市千秋町出張所内）

電話 28-9010 FAX 76-0099 ウェブサイト <http://138chiaki.org/>

地域づくり協議会 令和3年度を振り返って



地域づくり協議会 会長 浅野 孝博

当協議会は、平成22年12月に発足し12年目を迎えました。千秋町の皆様には、日頃から協議会活動にご協力を頂き厚く御礼申し上げます。コロナ禍で、令和2年度からこれまで数々の行事が中止となり非常に残念です。来年度以降は新型コロナウイルス感染症が収束し、以前のように協議会の各種行事が再開できることを切望しております。

福祉部会（平子 昌三 老人クラブ連合会会長）

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、予定した行事が大幅に変更となりました。三世代交流事業も『ラジオ体操』だけとなってしまいました。また『末広大学』は、一度も開催できませんでした。来年度も新型コロナウイルスへの対応に十分注意しながら、健康と出会い、ふれ合いの絆を強めるために頑張ります。ご理解とご協力をお願いします。

高齢者支援部会（馬場 京子 民生児童委員協議会会長）

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いたため、訪問活動が制限されるなか、訪問時間の縮小や電話による安否確認等、今後の見守り活動への不安を感じる年となりました。このような状況下で孤独、孤立など周りから見えにくい福祉課題や生活課題が広がり、民生児童委員が地域活動をするうえで、対応や解決に向けての取り組み方への課題も見えてきました。これからも、困りごとを抱える方への支援に繋げるため、民生児童委員が専門機関や行政との連携を密にする必要があることを再認識するとともに、支えあいの基盤が強くなるための活動ができればと考えています。

地域学習部会（長谷川 武 公民館館長）

地域学習部は、女性学習部と共に、公民館事業を通じ、街角に笑顔が溢れ、住民相互がいつも助け合える明るい千秋連区となるよう、地域コミュニティの維持、住民の絆づくりに貢献することを目指しています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は続き、「盆踊り大会」「町民運動会」「文化展」の三大事業等、住民が集う事業は、令和3年度も実施することができませんでした。このような制約がある状況の中ですが、執行部メンバーは、互いに知恵を出し合い、新しい形の公民館事業を模索しつつ、頑張ってまいります。

明るいまちづくり部会（青山 克己 連区町会長代表者）

令和3年度も残りわずかとなり、振り返ると年末（12/29）に地元消防分団の北分団（加納馬場）と南分団（小山）で実施した年末警戒への激励に地元推薦市議会議員と各町内会長でそれぞれの訪問をしました。また、一宮市より『市制100周年記念』の事業で頂いた関係団体への助成金により、連区代表旗と16の町内会旗を新規に整備し、1月22日には中野一宮市長、地元推薦市議会議員ほか来賓を招いての町内会旗授与式を執り行い、式典後には一宮ファッショングセンターセンター事務局長による出前講座で、この4月から変わら市立中学校制服と地元毛織物との関連について学習する予定を組みました。

